

自己実現 2026

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

[9 月校内実力考査教科・科目別講評]

<国 語>

	合計点	【一】評論	【二】小説	【三】古文	【四】漢文
全体	74.0	22.7	28.9	8.5	13.9
文系	75.1	22.2	29.5	9.8	13.6
理系	70.7	22.4	27.8	7.3	13.2
普通科	72.3	22.3	28.4	8.2	13.3
総合理学科	88.1	25.7	32.6	11.1	18.6

【一】副題が「数学と哲学から始まる世界像の転換」と題された著作からの出題であった。数学の「合同」から仏教の「中道」までを哲学的概念として扱っており、なじみの薄い内容であったかもしれないが、論理展開を丁寧にたどれば十分に理解できるものであった。百字の記述問題については部分点をとればよく、そういう意味では合格ラインの解答になっていた者が多かったが、空欄のまま取り組めていない解答が少なからずあったのは残念であった。また、問五の選択肢問題では、「仏教」に対する固定観念で不正解選択肢を選んだ者が多かったので、「本文の内容に沿う」という姿勢を徹底してもらいたい。

【二】横光利一『蠅』は、教科書にも掲載されることのある有名な作品である。じっくり時間をかけて読み解けば、さほど難解な文章ではない。ただ、限られた時間内で、表現上の特色等も含めた内容を理解するには、要領をつかんだ読解力が必要とされる。問六・七・九などの記述は、おおまかな点では書いている者が多かったが、要求される要素が抜けている解答も目立った。自分の解答と模範解答を比較して見て欲しい。また、小説作品であるから、作者の意図、語り手の視点などにも気をつけて読み取りたい。

【三】全体的に、助動詞の意味や敬意の方向などの文法的知識が不十分な解答が多くみられた。正確に文意を把握するためにも、基本的知識はおさえておきたい。また、古文では主語が省略されることが多いため、常に主語を考えながら読む必要がある。掛詞などの歌の技法について、知識として知っておくことは前提であるが、それによって詠み手のどのような心情が表現されているかまで考えられるようになりたい。

【四】『莊子』（【文章 1】）『論語』（【文章 2】）からの出題である。両者が対立する思想（道家 v s 儒家）を含む古典であることは、すでに授業などで何度も繰り返したと思う。【文章 1】では、儒家では聖人であるはずの孔子が、「一丈夫」（道家の理想を体現した人物）の真の意図を読み取れない、いささか愚鈍な人物として登場している。また、【文章 2】では、孔子は、「長沮・桀溺」という「隠者」たち（これも道家の理想を体現した人物）から批判を受けるが、それに対する反論を弟子に述懐している。まずこうした構図を読み取る必要がある。問二の使役形や問十一の選択形など、基本的な句形の学習を徹底してもらいたい。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現 2026』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

〈数 学〉 ※各問題の講評は配布済み解答冊子も参照のこと

〈文系型〉

① 9.0 点/40 ② 13.1 点/40 ③ 12.4 点/40 ④ 13.4 点/40 ⑤ 7.6 点/40

合計 55.6 点/200

〈理系型 普通科理系〉

① 11.0 点/30 ② 3.5 点/30 ③ 9.1 点/35 ④ 9.7 点/35 ⑤ 9.6 点/35 ⑥ 10.4 点/35

合計 53.2 点/200

〈理系型 総合理学科〉

① 16.4 点/30 ② 8.8 点/30 ③ 16.5 点/35 ④ 11.4 点/35 ⑤ 14.7 点/35 ⑥ 11.9 点/35

合計 79.7 点/200

1 空間において、点が直線上にあるとか平面上にある条件の、始点を変えたいろいろな表現を整理しておきましょう。あと、円の中心と球の中心を混同してはいけません。

2 (理系) 楕円の定義「2 定点からの距離の和が一定」でも、内・外接する円の中心間の距離の式から式変形で求めることもできる問題でした。できたはずなのに、と思っている人はぜひ次に活かしてください。

2 (文系) 連立不等式、指数・対数不等式の問題です。(1)は多くの人ができていましたが、方針がシンプルな以上、完解を目指してほしい問題です。

3 (理系) (1)、(2)は具体的な数字を使った問題でした。 Σ が表している式の意味を正確に読み取れるようにしておきましょう。(2)での記述で「 $n \geq 2$ のとき」、「 $n=1$ のときも成立」などの細かい配慮も出来るように。(3)の極限の問題では「求めにくい極限ははさみうち」がポイントです。どのように不等式を立てて極限を求めているか確認しておきましょう。

3 (文系) (1)の \cos の 3 倍角の公式に限らず、三角関数の公式がどのように生まれたのかも知っておき、本番で忘れしても対応出来るようにしておきましょう。(3)では三角関数の公式の中で、特に半角の公式、和積・積和の公式、補角の公式を使って計算出来たかがポイント。自分が公式を使えているか確認出来る良い問題です。復習で役立ててください。

4 (理系) (1) $y \geq 0$ を求める場面では見た瞬間に「合成」としてほしい。(2)は答えが煩雑であるが、サインコサインの 2 次の形だから、次数下げして 2θ で表すことを考える。(3)は媒介変数表示で表された曲線に関する面積、体積。大学入試において最頻出分野なので、しっかりと復習してください。

4 (文系) どこかで見たことがあるような問題（例えば青チャート数学Ⅱ基本例題 228）だったので、よく書けていました。「できる問題を確実に解いて得点する」ことが合格への近道。チャートで網羅的に学んだ知識をしっかりと使えるように。学んだことが使えなかった人は練習不足。習うより慣れる。授業の予習復習も含めてしっかりと演習量を確保しよう。

5 (理系) (4)の e に収束する公式の利用までたどり着いていない人がほとんどでした。数Ⅲは計算力しか問われない問題もあります。普段からとにかく手を動かし、大量の計算に慣れることです。

5 (文系) 6 (理系) まず、限られている漸化式の解法パターンをすべて覚えること。教科書例題レベルの漸化式も怪しい人がいます。偶奇で分けるタイプの問題は、苦手な人が多いですが、類題で演習をこなしてください。

<英 語>

【筆記】 今回の課題実力考査は、長文に関しては、実力長文が3題(102点)という出題であった。今回の特徴は国公立大学2次試験を意識して長文問題すべてに要約問題を出題したことである。大問【4】【6】は比較的読み易く、その一方で【5】は難解で生徒たちは解答するのにかなり苦勞したと思う。実は、【4】～【6】に関しては、出題の順序にも配慮した。【5】を【4】と【6】の間に挟むことで、どの問題に時間をかけるかを判断する練習にした。【5】に時間をかけすぎた生徒は、【8】以降にかける時間がなく、白紙に近い状態の答案も散見された。【8】の英文和訳問題は文そのものは短いが、様々な仕掛けがある文章だったのでかなり手こずったと思う。ただ、4月の課題実力考査と比較すると、完解とはいかないが構造をつかめている生徒が増えたように思う。【9】の英作文は表現力がまだまだ不足している。さらに、与えられた日本語を平易な日本語に置き換えるトレーニングが不足しているように思う。なお、これまでの課題実力考査では選択式の問題が多く出題されていたが、今回はすべてが記述であったことも生徒が高得点を取れなかった一因かもしれない。この考査を通じて2次試験に向けての課題が明確になったと思う。授業を通じて基礎的な内容の徹底を図るとともに、それをどのように応用につなげていくかの意識を高めていきたい。

<平均点 (筆記 200 点) >

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
筆記	語彙	イディオム	語法 文法	長文	長文	長文	誤文	和訳	英訳	英作文	
	10	10	10	35	32	35	8	20	20	20	200
全体	5.1	2.3	1.3	12.4	6.0	16.3	2.1	3.8	4.9	6.9	61.0
普通	5.0	2.2	1.2	12.0	6.0	15.9	1.9	3.4	4.3	6.5	58.4
総理	5.6	3.1	1.9	15.5	6.4	19.4	3.2	6.7	9.0	9.8	80.6

<平均点 (リスニング 100 点) > 全体 66.7 点 普通 65.7 点 総理 73.8 点

<物 理>

平均点 22.7 (普通科 21.5、総合理学科 30.2)

① 運動の法則・慣性力

2物体を重ねて下の台を動かし、上に乗っている小物体の運動の様子を見る問で、下の台が平らな問題は共通テストでも頻出である。ア、イまではほとんどの生徒が正解だが、そこから正答率が急激に下がり、オ以降はすべて正答率が10%未満だった。ウから小物体に加わる慣性力を考慮に入れる必要があったことが原因と考えられる。特に、慣性力の向きを最初に間違えたせいで、その後の問をすべて落としてしまったという生徒が多かった。また、テスト後に解説を読み、落ち着いて解き直すときできたという報告も聞いている。頻出単元でもあり、もう一度復習することが大切である。

② 光電効果

1学期期末考査で出題された単元と同じで極々基本的な問題であったが、語句と公式確認の問以外、正答率は11%～17%と振るわなかった。原子の単元は他と比べて勉強しにくいと感じる<保護者の方々にも読んでいただきましょう> <ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現 2026』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

かもしれないが、出題される問のパターンは決まっているので実は勉強しやすい單元である。つい先日終わった單元なので、ここはまだまだ基礎力をつける段階である。リードαをしっかりと解いてほしい。

③ 光波

リードα354 のマイケルソン干渉計の問に似た構成の問。「経路差・光路差」ではなく「位相差」という語句に馴染みがなく、(1)～(3)の正答率が 10%未満だった。解説を読み、位相差を理解しておくように。

④ 万有引力 全体的によく解けていた。

⑤ コンデンサーを含む回路

内部抵抗を持つ電池やコンデンサー、電圧計、スイッチが回路に含まれていて、スイッチの切り替えにより合成抵抗の値、電流の大きさが変わっていく問である。小問によって直列もしくは並列接続になるのはどこなのか、その場合抵抗とコンデンサーはどういう接続になるのか、など、回路図を簡単に書きながら解くと良い。複雑な回路図に慣れていってほしい。

<化 学>

マーク模試は8月に実施しているので、今回は試験時間75分の本格的な筆記問題としました。また、本校では一学期に有機化学の学習を終えているため、二次でウエートの高い有機も出題しました。二次形式ですから大問ごとにまとまりのある文章を読んで条件や題意を掴んで、さまざまな単元の設問を解く総合問題になっています。そのため自分でどの法則を使うのか、どの数値を使って公式に当てはめるのか等の『判断する力』を普段の学習から意識して養う必要があります。また、採点してみると無機や有機の暗記事項が覚えきれていない答案が多い印象です。特に記述形式ではあいまいな暗記では答案用紙に書けません。今回の結果(答案)をしっかりと分析して対策(学習方針)を立ててください。受験では共通テストだけが必要な人もいますが、応用発展問題も増えているので二次演習と同レベルの対策が必要です。教科書の学習が終われば入試演習が始まるので、それまでに理論分野の基本公式、ならびに現在進行形の高分子とともに無機・有機の復習(暗記)を進めておきましょう。

<生 物>

主に大学の今年の2次試験を参考に実力問題を出題。120点満点で平均56点(47%)、最高91点(75%)であった。少しずつではあるが、力をつけてきている生徒がみられる。今後のさらに実力を確実につけてほしい。

第1問 呼吸に関する出題である。問1, 2は完解が求められる。呼吸におけるクエン酸回路をまだ正確に理解していない。生物におけるクエン酸回路とカルビン回路を正確に理解する必要がある。また、漢字間違いもあり、丁寧な解答をする必要がある。生体内での代謝における酵素と回路の意味を理解することが求められる。

文Ⅱではビールの製造と日本酒の製造の違いを考えさせる問題でアルコール発酵には基質としてグルコースが必要であることを理解する。

第2問 本年度入試の最大の特徴は霊長類の中のヒト、人類の進化に関する出題が非常に増えたことである。この対策として東海大学、名古屋大学等の入試問題から作成した。文Ⅰでは共通テストも意識した対話形式からの出題。及び無根系統樹とその考え方を文中で示した。問4～問6までは基礎事項の確認の選択問題で完答するのが望ましい。ここまでは比較的できている生徒が多かった。文Ⅱではヒトを含む類人猿が尾を持たないことをゲノム解析から考察し、それをゲノム編集の技術を用いて解析する。文中でAlu配列がなぜ領域1と2で逆向きなのかを理解するこ

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2026』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

とが問題を考えていく上で重要である。しっかりと導入文を読み込み、内容と重要事項を自分なりに図示できるような力を今後養っていく必要がある。

第3問 生態系と種多様性の維持に関する問題である。問1のレッドリストとレッドデータの区別がついていない。ホメオティックドメインとホメオボックス等のよく似た語句の知識がまだ正確でない。残念ながらレッドデータと解答できた生徒はいなかった。正確な知識の習得が最重要である。問2, 3では与えられた図を参考に答える必要がある。しかし、図のデータを使わずに自分の知識で回答している者が多く、文Ⅱでも文章と選択肢をよく読まずに間違っている。生物の試験は問題中の条件と表やグラフを使い回答することが重要である。出題者の意図をよく考えながら今後も真摯に取り組んで欲しい。

＜世界史探究＞

1 出題内容

全範囲出題しました。世界史探究でまだ扱っていない範囲は、歴史総合のレベルで出題しました。

2 分析

・平均点は37.5点です。4月より範囲が広く、難易度も難しく作りましたが、あのとき29.7点だったことを考えれば、力がついています。とはいえ、人によって課題が異なるのは言うまでもありません。

・正答率の低い問題は時代でいうと古代と現代が多いです（中世、近世、近代あたりはまだ手が出ている）。苦手な地域の偏りは見られません。前回と同じ講評ですが、記憶に残っているとこは答えられるが、忘れているところはさっぱり、という傾向は相変わらずです。例えば「クリュニー修道院」の正答率が64.7%で、「ヴォルムス協約」は5.9%…同じ単元なのになぜこんなに差が出るのか…。まだまだ有機的に頭の中でつながっていないのだと思います。

・論述は、問い方は単純にしましたが、聞かれたら答えられないだろうなというテーマを出題しました。「ティマール制」と聞いて、まったく分からなくても、言葉の響きからイスラームの制度じゃないか、など、類推してなんとか△を拾ってくる力も入試では必要です。

3 指導方針・学習の心構え

・夏休みを経て、自分の苦手な時代や地域が浮き彫りになったでしょうか。積極的に質問してください。あなたの知っていることにつなげて解説します。

・演習も大切ですが、まだまだ基本事項を講義で説明しようかと考えています。徐々に世界史の学習時間を増やしていく時期です。頑張ればここからぐんぐん伸びます。

＜日本史探究＞

1 出題内容

今までの既習範囲から出題

平均点：43.6点 最高点：77点 最低点：24点

選択問題 50問 記述問題 13問 論述問題 3問

【1】原始・古代の政治史を中心 【2】平安～鎌倉の史料問題

【3】平安～鎌倉の外交に関する問題 【4】幕末の外交

【5】明治の政治史 【6】各時期の文化

・文献史料や図や絵画・系図などを多めに出题し、論述問題も3題ほど出題しました。

2 分析

・大問6の文化史問題や各大問にある文化の問題の正答率が全体的に低く（5割以下がほとんど）、文化史が後回しになっている印象があります。文化史はどうしても後回しにしがちですが、入試では必ず出ますので、この時期から図説を用いて絵画・写真などビジュアルも含めて慣れ親しむようにしましょう。（図説は重たいですが、必携）また、各文化と政治史との関連も意識しておさえましょう。

・時代の並び替えの問題も正答率が低いです。一つ一つの出来事に対して「なぜ起こったのか」を意識してください。原因が前・結果が後に来るので、それに対応できることもあります。また、各時代を細分化して（原始古代は天皇ごと、中世は、摂関・執権・将軍ごと、近現代は内

＜保護者の方々にも読んでいただきましょう＞ ＜ご意見・ご質問をお寄せください＞

『自己実現2026』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

閣下など) 知識の整理を行ってください。(「～は～内閣の出来事」と答えられるように)

・論述問題 3 題に関しては、国司・郡司の役割の違い、鎌倉の政治体制の変遷、浮世絵の普及について考える問題をそれぞれ出題しました。一つ一つの用語を言葉のみの理解にとどまらず、用語同士の関係(因果・相違・変遷など)を意識して「理解」につとめましょう。

〈地理探究〉

1 出題内容 世界地図の作成、地理用語の説明

2 問題作成の意図

2 次試験を受ける上で、世界地図を頭の中で正確に描けることが大切だと思っています。砂漠がどこにあるか。緯度・経度をほぼ正確に描けるか。人口の大まかな分布。植生の分布。そのようなことが頭の中で描くことが出来たら、どんな問題でも対応できるようになります。その確認のために今回も世界地図を書いてもらいました。

地理用語の説明は、東大・京大の 2 次試験の基本です。問題の解答を単語で答えられるのは、個人の学習の成果であります。その上で解答テクニックとして、単文をつなげていく必要があります。今回はその最初の段階で出題しました。

地理の授業は、共通テストで 8 割を目指しています。そのためにどうしてもマーク解答の 4 択 6 択 9 択に対応した思考回路の訓練に終始しがちです。それでは本来の学習からずれてしまいがちです。問題に対して、文章で解答することはとても重要な手段です。今回はその流れに沿って出題しました。

3 分析

平均点は 68.4 点です。点数的にはまずまずの出来です。

海流の流れの基本がわかっていない生徒が多く見られたのは残念です。地球の熱循環のために、暖流・寒流があります。寒いところ(高緯度)から温かいところ(低緯度)に流れているのが寒流です。地球の自転の影響で、北半球では時計回り、南半球では反時計回りに海流は動いています。地理用語は、こちら側の授業で丁寧に説明はしているつもりですが、今後もっと丁寧に説明する必要があります。マークで答える共通テストですが、本質的に理解することが重要だと考えています。

輸出加工区(輸出志向型工業)が全くわかっていないのが残念でした。

〈倫理/政経(文)〉

1 出題形式：共通テスト形式。

2 出題内容

倫理分野は 50 点分。

【1】心理学、イスラーム、初期キリスト教、儒学 【2】西洋哲学 【3】近現代哲学

政経分野は 50 点分。

【4】市場経済や統計 【5】 【6】日本国憲法や人権、三権や日本の統治構造について。

3 平均点：倫理分野の平均点は 19.1、政経分野の平均点は 22.6

4 分析

倫理はまんべんなく出題をするように心がけたが、実際は政経選択者も多いと思うので公共でも出題される可能性が高い問題については気を付けてほしい。たとえば【1】の問 3 のような問題は約 72% の正答率であるが、本番ではこのような問題で 8 割は取れるようにしたい。また

【3】の問 3～5 あたりは公共という科目の性質上頻出の問題であると考えられるが問 3 は 57.6%、問 4 は 40.4%、問 5 は 23.2% であった。これらは公共では既習の範囲であり、確実に答えてほしいので、公共性について考えた哲学者(アーレント、ハーバーマス、ロールズ)あたりは確実に押さえない。また代表的な出題範囲だとカントやヘーゲルについての出題も 3 割程度の正答率しかなかったのが気になるので、よく復習してほしい。

政治経済の経済分野で計算問題をいくつか出題したが、正答率は低かったので計算問題を復習してほしい(GDP などの経済指標に係る計算問題、実質経済成長率を導き出す計算、信用創造の計算)。よく解答解説に目を通して計算方法を身に着けること。とくに最近はストレートな計算を聞かずにやや応用的なひねりのある問題が出題されるので、いろんなパターンに慣れてほ

く保護者の方々にも読んでいただきましょう

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現 2026』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

しい。また【5】【6】は政治分野から出題。細かな知識を問う問題が多いので、教科書や資料集を使って学習を進めること。秋から冬にかけては地歴公民科の季節。教科書などで基礎を固めつつ、授業中に行う問題演習で実力を付けて、本番に臨んでください。

[校外模試の案内について] ※各業者の主な大学別模試等の受付は終了しました。

駿台:

- ・第3回駿台・ベネッセ共催 大学入学共通テスト模試 …… 11/2(日) 駿台予備学校神戸校
→ 進路資料室前に掲示している用紙の QR コード申込(10/24(金)まで)
- ・駿台 atama+プレ共通テスト模試(会場/ONLINE) …… 12/7(日) 駿台予備学校神戸校
→ 進路資料室前に置いてある用紙の QR コード申込
- ・駿台合格セミナー(各大学対策の特別講座)
……申込締切等の詳細は進路資料室前の用紙で確認すること(各自で QR コード申込)

河合塾: 全統プレ共通テスト(11/16(日)実施)は後日案内します。

[学校で受験する模試(原則全員受験)の案内について] **再掲**

10/3(金)・4(土) 第2回 ベネッセ・駿台記述模試

9/25(木) 受験届記入

10/3(金) 放課後

1～3組(文系)

4～9組(理系)

15:15～16:55(100) 数Ⅰ

15:15～17:15(120) 数学Ⅱ

10/4(土) 全日

08:20～10:00(100) 国語

10:10～11:50(100) 英語(リスニングを含む)

《昼休み 40 分間》

1～3組(文系)

4～9組(理系)

12:30～14:35(125) 地歴公民

12:30～14:35(125) 理科

10/11(土) 第3回 全統記述模試

10/7(火) HR 受験届記入

10/11(土) 全日

08:20～10:00(100) 国語

10:15～11:55(100) 英語(リスニングを含む)

1～3組(文系)

4～9組(理系)

《昼休み 60 分間》

《昼休み 40 分間》 文転者は自席で待機

12:55～14:35(100) 数Ⅱ

12:35～14:35(120) 数学Ⅲ

14:50～16:55(125) 地歴公民

14:50～16:55(125) 理科

※河合塾生も神戸高校で受験します。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現 2026』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

10/24(金)・25(土) 第3回 全統共通テスト模試

10/16(木) LHR 受験届記入

10/24(金) 放課後 15:15～16:25(70) 数①
 16:35～17:45(70) 数②
 10/25(土) 全日 08:20～09:20(60) 情報
 09:30～10:50(80) 英語
 11:00～11:40(40) リスニング
 ≪昼休み 40 分間≫
 12:20～13:50(90) 国語

1～3組(文系)

14:00～16:00(120) 地歴公民

16:10～17:10(60) 理科①

4～9組(理系)

14:00～16:00(120) 理科②

16:10～17:10(60) 地歴公民

※河合塾生も神戸高校で受験します。**[共通テスト出願のスケジュール]**10/10(金) 10:00～10/13(月) 23:59: 出願内容の確認・訂正期間 (校内メ切)

12/10(水) 10:00～: 受験票の取得

[学校推薦型(指定校推薦を含む)・総合型選抜の出願について] 再掲

上記の出願を希望する人は、以下の1～6の注意事項をしっかりと読んで、早めに担任へ相談してください。

- 1 校内選考を経て推薦生徒を決定し、推薦の可否を出願希望者へ連絡します。希望者が1名の場合でも推薦できないことがあります。
- 2 出願希望者は、校内選考用資料として、志望理由書(800 字程度)を担任に提出しなければなりません。
- 3 大学等への出願書類は各自で取り寄せてください。(指定校推薦以外)
- 4 学校推薦型・総合型選抜(指定校推薦以外で高校からの出願人数に制限のある場合)
担任が出願開始4週間前までに校内選考用資料を作成する必要があるため、それよりも前に余裕をもって担任に相談(評定平均値, 生活・学習状況等)し、志望理由書を提出してください。
- 5 学校推薦型・総合型選抜(指定校推薦以外で高校からの出願人数に制限のない場合)
担任が出願開始2週間前までに校内選考用資料を作成する必要があるため、それよりも前に余裕をもって担任に相談(評定平均値, 生活・学習状況等)し、志望理由書を提出してください。
- 6 専願制入試の複数出願は認めません。ただし、不合格確定後は他の専願制入試に出願できます。

※その他、不明な点は、担任または進路指導部の先生に確認してください。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現 2026』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。